

大狩部橋上部工事レポート Vol.4

平成30年12月1日

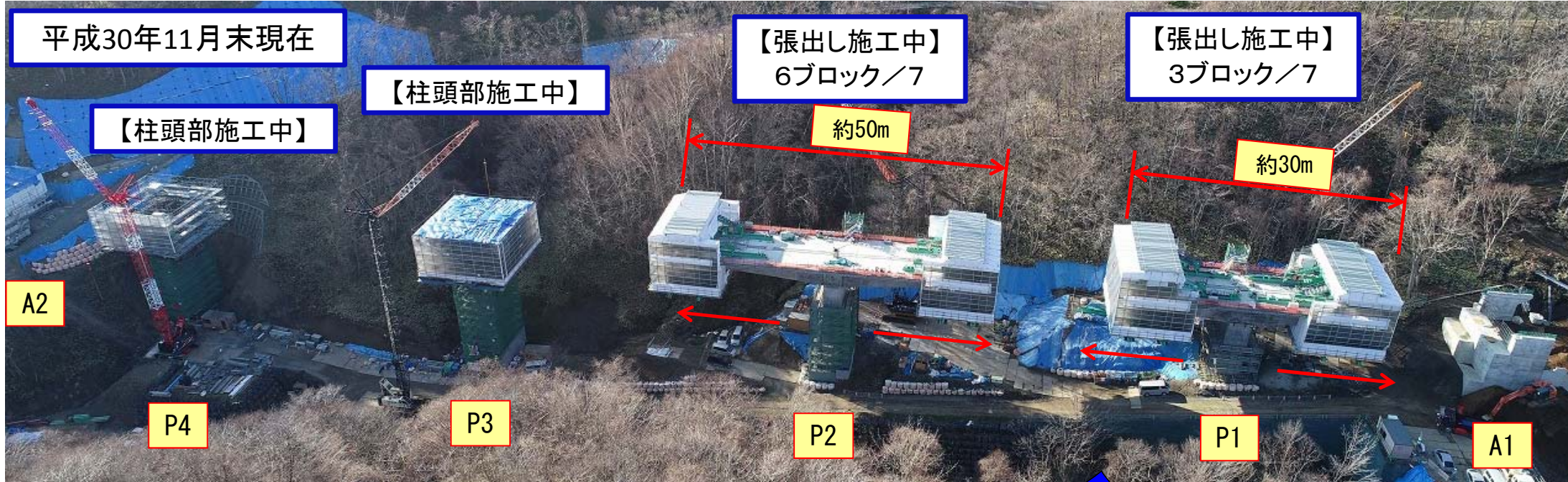
【工事概要】

工事箇所：北海道新冠郡新冠町
 工期：平成29年11月29日～平成31年10月25日
 発注者：北海道開発局 室蘭開発建設部
 構造形式：5径間連続PCラーメン箱桁橋
 橋長：261.0m、支間長：34.9m+3@63.0m+34.9m
 架設工法：張出し架設工法

当社のHPに
現場HPを順次
更新中！



オリエンタル白石株式会社
北海道営業所

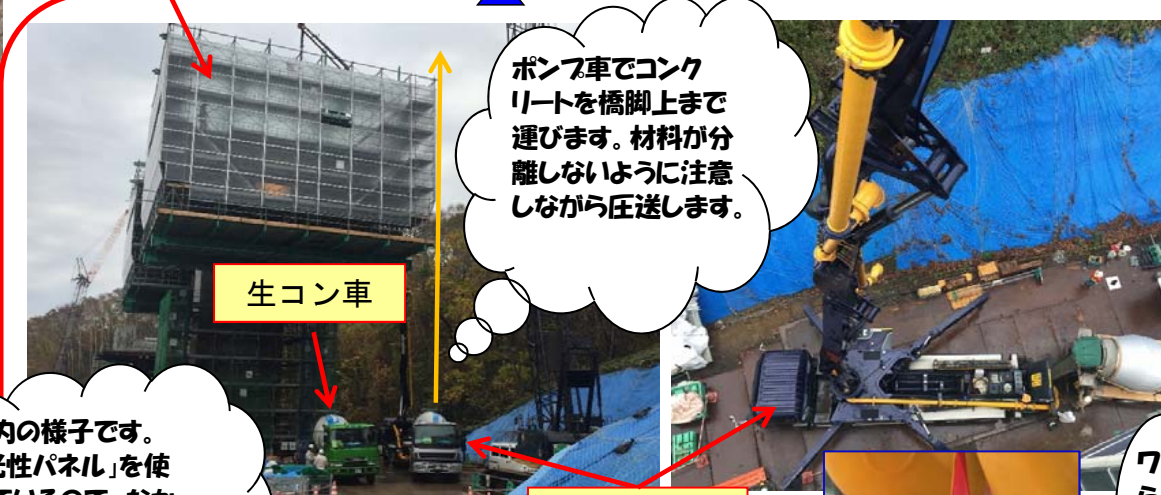


新冠町の皆さん、こんにちは！
 オリエンタル白石・大狩部橋上部工事作業所長の加藤高です。工事の進捗率は、10月末現在で約42%まで進んでいます。
 P2橋脚部では、やじろべえ工法の「張出し施工」が6ブロック/7ブロック中まで進んでいます。
 年内には、P2橋脚部の施工を終えて、P3橋脚部に「ワーゲン」と呼ばれる移動作業車を移動して、再度組立ます。また、「コンクリート」と「人間」の凍結を防止するため、「採光性パネル」という覆いを設けました。全ての橋脚が動き出し、職員も大忙しです。
 今回は、この覆いの中で進められている張出し施工の施工サイクルを詳しく説明します。ではまた次回まで！



採光性パネル

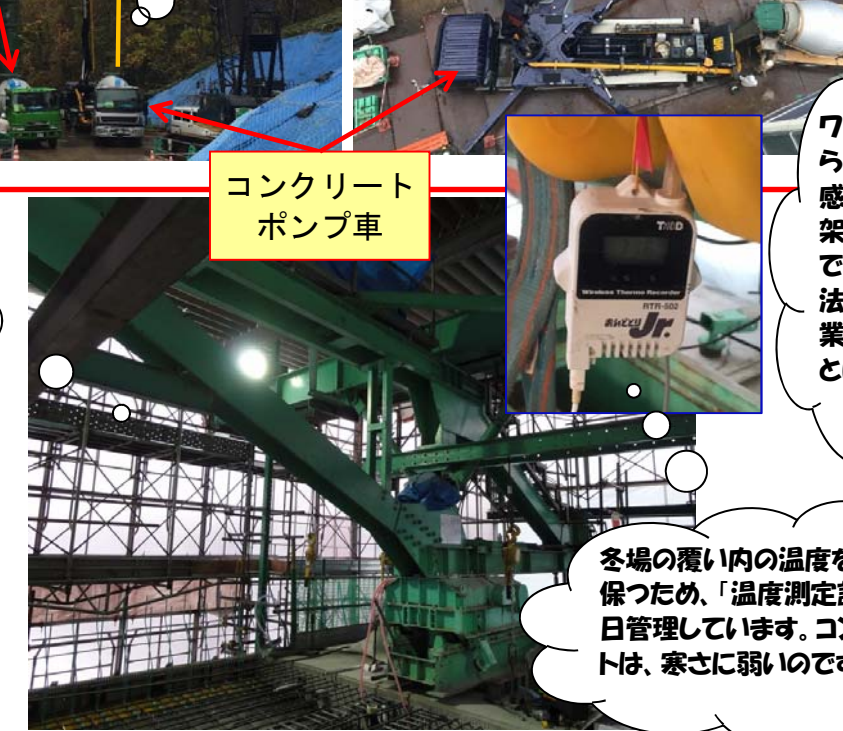
【コンクリート打設状況】



10月には、室蘭工業大学の2年生、3年生総勢118名が、2回に分けて現場見学に来ました！また、来年是非来て下さいね！

P3では、柱頭部の施工中。橋脚からの鉄筋と上部工の鉄筋を連結します。特に地震時には重要な鉄筋です。

覆い内の様子です。「採光性パネル」を使用しているので、なかなか明るく、快適な作業空間です。



ワーゲンは、下から見ると、こんな感じです。張出し架設工法はドイツで開発された工法なので、移動作業車は「ワーゲン」といいます。

打設位置まで、ホースで圧送します。隅々までコンクリートが行き渡るように、作業分担を決めて打設します。

冬場の覆い内の温度を一定に保つため、「温度測定計」で毎日管理しています。コンクリートは、寒さに弱いのです。

